



宮私幼 だより vol.147



長浜幼稚園

震災時の様子

巻頭言

天気予報によれば、全国で暴風注意報が出され、被害も報道されております。そんな中、当園でも屋根の一部が損壊する騒ぎになりました。幸い、人身事故はなく安堵したところです。各園におかれましては、普段から自然災害に注意を払ってほしいと思います。

さて、卒園式も終わり、新学期の準備に大わらわな時期となりました。新年度を迎えるにあたり、いくつかの難題を抱えておりますので会員の皆様と共通理解を提案いたします。

第一は、幼児教育の無償化であります。消費税の改正にあわせて、認定こども園も含めて、3歳児から5歳児の保育料を無償にすることがほぼ決定しております。無償化といっても大都市の私立幼稚園と地方の幼稚園では保育料の額がまちまちなので、年額308,000円を軸に制度化するようであります。預かり保育や認定こども園、保育園の保育料との差額をどうするのかも大きな課題であります。

第二は、新制度への移行を考える時期にきております。公定価格、利用調整、園舎の改築、保育士不足、処遇改善等々、問題山積であります。いろいろなご意見をお寄せください。

第三は、満2歳児の幼稚園入園であります。育児休暇が2歳児まで延長になったので、そのあとの保育を幼稚園でやってほしいという、虫のいい話であります。文科省は、これまで週1回の体験保育や親子教室さえも厳しく規制していたにも関わらず、今回は、さらに、夕方までの預かりをもやってほしいとの意向であります。もう少し、教育的価値を示してほしいものです。

第四は、新教育要領(認定こども園教育要領)による実践と評価をみえる化するための研修の充実等、難題、課題山積です。

会員の皆様のご協力とご理解とご指導をよろしくお願い申し上げます。



Close-up 理事会

平成29年度宮私幼理事会の概要(9月～3月)

【平成29年度第4回理事会】

- 日時** 平成29年11月24日(金)午後2時～
場所 仙台ガーデンパレス 4F 蓬莱の間
議事
- (1) 平成29年度上半期、各委員会の事業報告について各委員会から報告された。
 - (2) 退職手当資金給付事業運営規則の一部改正(案)について第11条2の従来私学共済標準給与表の区分によるものを宮私幼退職手当資金給付事業掛金早見表の区分にする案が承認された。
 - (3) 東北地区会担当者連絡協議会の報告
教育研究、経営研究、政策総務について各担当者から報告があった。
 - (4) 教育実習ガイドライン作りについて
昨年8月10日の主任研修会を受けてガイドライン作り(案)が示され協議された。
 - (5) 第32回東北地区教員研修大会(宮城大会)について大会収録の進捗状況、実行委員会への報告・大会会計収支計算書(案)について協議された。
 - (6) 平成29年度第2回総会及び平成30年度第1回の総会の日程について平成30年度役員改選期、理事の人数について話し合われた。
- その他**

【平成29年度第5回理事会】

- 日時** 平成30年2月14日(水)午後2時～
場所 宮私幼事務局
議事
- (1) 平成29年度第2回定時総会の議案書について
第1号議案 平成29年度一般会計収支補正予算(案)及び退職手当資金給付事業特別会計収支補正予算(案)について

- 第2号議案 平成30年度事業計画(案)について
- 第3号議案 平成30年度一般会計収支予算(案)及び退職手当資金給付事業特別会計収支予算(案)について
- 第4号議案 退職手当資金給付事業運営規則の一部改正(案)について

報告事項

その他

- (1) 平成31年度園児募集について
- (2) 第2回定時総会の議長、議事録署名人及び司会者について
- (3) 園の異動報告について
- (4) 免許状更新講習について
- (5) 「幼稚園ナビ」の活用について

報告事項

- (イ) 義援金の配分について
- (ロ) 就職内定学生実習期間の傷害保険の申込み状況について
- (ハ) その他
今後の予定について

【平成29年度第6回理事会】

- 日時** 平成30年3月23日(金)午後3時～
場所 宮私幼事務局
議事
- (1) 第32回東北地区教員研修大会(宮城大会)会計報告について
残金706,600円は6年後の宮城大会開催の積立とすることに決定した。
 - (2) 役員改選について
理事や各委員会の人数について話し合われた。
 - (3) 教育実習のガイドライン検討会議の途中経過報告について
資料「ガイドライン作りに至る経過」が示され話し合われた。
 - (4) 平成30年度から県のHPに宮私幼の研修会を掲載する件について
掲載することによるメリット、デメリット等について話し合われた。
- その他** 今後の日程について

事務局だより

○関係機関団体

- 10/17 第42回宮私幼PTA親善バレーボール大会(グランディ21)
 10/25 宮城県私学振興大会(電力ホール)
 11/14 宮城県幼保連携型認定こども園審議会(県庁行政庁舎)
 1/9 仙私幼教員研修大会(仙台市民会館)
 1/29 第13回学ぶ土台づくり推進連絡会議(県行政庁舎)
 2/13 宮城県次世代育成支援対策地域協議会及び宮城県子ども子育て会議(県行政庁舎)
 2/15 私学審議会(県行政庁舎)
 3/6 宮城県幼保連携型認定こども園審議会(県庁行政庁舎)

○全日私幼連

- 10/4 第10回都道府県政策担当者会議(東京)
 10/16～17 第33回設置者・園長全国研修大会(大分)
 11/15 政令指定都市特別委員会研修会(東京)
 11/17 常任理事会(東京)、東北地区会教育研究・経営研究・政策総務担当者連絡協議会(仙台ガーデンパレス)
 11/21 認定こども園全国研修会(東京)
 11/22～23 園長・リーダー研修会(東京)
 12/5 団体会長・理事会合同会議(東京)
 1/18～19 全国研究研修担当者会議(京都)
 1/30 団体会長・理事会合同会議(東京)
 2/5 102条園研修会(東京)
 2/14 ECQコーディネーター養成講座(東京)
 2/16 常任理事会(東京)
 2/19 第7回後継者育成研修会(東京)
 2/20 幼稚園ナビ担当者会議(東京)
 2/23 第2回東北地区会・団体会長会議及び事務局長会議(仙台ガーデンパレス)
 3/13 団体会長・理事会合同会議(東京)
 3/25 免許状更新講習(第5回選択)(東京エレクトロンホール宮城他)

○東北地区教員研修大会会議

- 実行委員会 11/24(仙台ガーデンパレス)
 研修部会 10/17、10/30、11/20、11/28

○宮私幼のあゆみ

- 10/4 広報委員会
 10/11 地区長会、総務・給付委員会
 10/10 研究委員会
 11/1～5 宮城県造形教育作品展(県美術館)
 11/6 研究委員会
 11/8 総務・給付委員会
 11/24 理事会(仙台ガーデンパレス)
 12/6 総務・給付委員会
 12/12 研究委員会、地区研修担当者連絡会、教育実習のガイドライン検討会議
 12/18 知事陳情打合せ
 1/11 知事陳情・宮城県議会議長陳情
 1/24 総務・給付委員会
 1/25 研究委員会、教育実習のガイドライン検討会議
 2/6 研究委員会、教育実習のガイドライン検討会議
 2/13 総務・給付委員会、常任理事会・総務・給付委員会合同会議
 2/14 理事会
 2/28 設置者・園長研修会、第2回定時総会(東京エレクトロンホール宮城)
 3/6 研究委員会
 3/23 総務・給付委員会、広報委員会、理事会

○慶弔

- 1/28 東盛幼稚園開園50周年記念式・開眼式・祝賀会
 2/9 清野 節子氏(東盛幼稚園 前園長) 逝去
 2/20 鈴木 かな子氏(聖ドミニコ学院幼稚園、聖ドミニコ学院 北仙台幼稚園 理事長) 逝去

平成29年度 設置者・園長研修会 / 第2回定時総会

日 時:平成30年 2月28日(水)

会 場:東京エレクトロンホール宮城

設置者・園長研修会

講師には大野雅史文部科学省初等中等教育局幼児教育課専門官をお迎えして、約1時間半に亘り、お話をいただきました。今回の研修会では、①新制度の現状と課題、②教員の処遇改善について、③2歳児の受け入れについて、の3テーマについてご講義いただきました。

まず、①新制度の現状と課題について、現状では全国の幼稚園の44.5%が新制度に移行したことが、グラフで示され、文部科学省としては、今後も私立幼稚園の新制度への円滑な移行に向けて条件・環境整備を行っていききたいとのことでした。とりわけ、移行への問題点としては、大規模園の収入面での不安、事務負担の増加、人材確保への不安などが今後の対応課題となってきます。②の教員の処遇改善については、平成29年の幼稚園教諭の有効求人倍率が2.55倍との数値であったことも踏まえ、人材確保、採用難の現状を変え、適時適切な現場での教員確保が急務となっており、それらの策を国が方向付けしていくものです。一定のキャリアと要件を満たした教諭の処遇を段階的に改善していく仕組みですが、それに係わる研修スキームなどは、これからの議論となります。現段階では、各都道府県により、処遇改善の通達がされ、各県の裁量で段階的に進んでいる状況です。とは言え、新制度幼稚園と私学助成園での処遇改善格差が月給で4万円と4千円という大幅な差があることかなりの異論があることも承知しており、今後はその格差について、どのように仕組化していくかが課題となってくるのお話でした。③の2歳児の受け入れについては、待機児童の7割を占める1・2歳児の受け皿確保が国の喫緊の課題となっており、その対応の方向性として、幼稚園における2歳児の受け入れを推進していくことになっている。そうすることで、2歳から施設に預けたいというニーズに応え、3



歳以降も同一の施設を継続して利用できるよう仕組化していく方向とのことでした。この仕組みは、新制度幼稚園のみならず、私学助成園も対象になるよう設計する予定とのことでした。

最後にまとめとして、幼児教育・保育施設においては、今後5年間で新制度の見直しや2歳児の受け入れ、幼児教育無償化といった激動の時代が予想されるので、文部科学省としては、タイムリーに情報提供しつつ、条件整備や環境整備に努めたいとお話で研修会を締めくくられました。



第2回 定時総会

総会に先立ち、今年度お亡くなりになられた先生方に黙祷を捧げました。

はじめに開会のことばを鎌田文恵副理事長よりいただき、新制度も含め幼稚園を取り巻く環境は非常に厳しいが、このような時代こそ我々がスクラムを組んで、幼児教育を進めていきたいとお話をいただきました。続いて村山十五理事長の挨拶では、来年度も幼稚園を取り巻く環境には、厳しいものがあり、2歳児保育推進や定員枠も従来より緩くなるといった変化もあります。そういった環境の中でも、新制度に移行した園の市町村による利用者調整については、普通の幼稚園のように利用者が希望する園を選べるようにしたいという想いがあり、幼稚園経営の環境整備の一環として、現在行政サイドに働きかけて要望している旨、報告されました。次にご来賓として後藤順一宮城県総務部私学文書課副参事が祝辞を述べられ、震災から7年経ち幼稚園の復旧率が98%であること、4月から幼稚園教育要領が新しくなること、また4月か



らは県庁の組織再編に伴って私学文書課を二つに分けて私立幼稚園は、私学・公益法人課が窓口になることがお話をされました。

総会議長として登米地区より登米幼稚園の友川栄先生、泉地区よりみやの森幼稚園の遠藤弥一郎先生を選任し、議事録署名人に泉地区より泉の杜幼稚園菊池正隆先生、気仙沼地区より葦の芽幼稚園小野寺純一先生を選任し、議事に入りました。

第1号議案として平成29年度一般会計収支補

正予算(案)及び退職手当資金給付事業特別会計収支補正予算(案)について、第2号議案平成30年度事業計画



(案)について、第3号議案平成30年度一般会計収支予算(案)及び退職手当資金給付事業特別会計収支予算(案)について審議され、いずれも異議なく承認されました。その他として、平成31年度園児募集の日程について、例年通り10月1日募集、11月1日願書受付となる旨、報告されました。以上をもって第2回定時総会を終了しました。(高橋 潤)

宮城県知事・議会議長への陳情

1月11日午後3時より、平成30年度予算処置に伴い恒例となりました村井嘉浩宮城県知事、中島源陽県議会議長に「平成30年度私立幼稚園に対する県補助金等引き上げに関する要望書」を提出しました。その要旨は、「1. 東北地区で最下位である、宮城県私立学校運営費補助金を、国の財源措置額まで改善するよう要望いたします。」「2. 私立幼稚園が教員の人材確保のために処遇改善を行った場合に係る必要経費の一部を追加助成していただきたく、運営費補助制度の拡充を要望します。」となっております。村山十五理事長が都道府県別による経常費等補助単価が記載された資料などをもとに説明しました。

当日は宮私幼から村山理事長はじめ副理事長、常任理事が、宮私幼PTA連から佐々木幸士会長はじめ副会長、役員の方々、18名の方々に参加していただきました。特に岩沼南こぼと幼稚園年長児の畑山奏絵ちゃんのかわいらしく力強

い応援には村井知事も中島議長も思わず微笑んでいました。また、3人のお子さんをお持ちの保護者



の方からは幼児教育無償化が話題となりました。宮私幼側からは平成29年度より実施される人材確保のための処遇改善の補助について、新制度の施設との大きな格差について問題提起がなされました。

村井知事、中島議長お二方共に昔から私立幼稚園との関わりがおありでしたので、厳しい財源の中、善処される旨のお返事をいただきました。



「地区の在り方について」

総務・給付委員長 吉岡弘宗

子ども子育て支援新制度が施行されて3年が終わろうとしています。私立幼稚園という総称が、いろいろな形の運営方法に変化してきています。変化が大きくて、小さな子どもたちを抱えている親たちも戸惑っているのではないのでしょうか。小さな幼子の為にも、そして親たちのためにも、今後どうあるべきなのかを当連合会では、考えていかなければなりません。今までは宮城県という単位で考えてきた事を各市町村単位の地区としてどう考えているのか行政側に考え方の問いただしをしなければなりません。新制度におきましては、各市町村単位で今後どのような子育て社会環境を作っていくのかの方向を掲げています。それを各行政側では、選択して住民サービスを考えていくのです。新制度に

基づく幼稚園の在り方、そして将来性のある選択が不可欠になると思います。今、子を持つ親たちが望んでいること、子育てでの支援サービスで何を求めているのか、今までは提供で良かったことが、要求的なサービスを求めるようになってきている気がします。これでいいのかと思いつつも、考え方の基盤が違っているような気がします。それぐらい社会環境が変わってしまいました。それでも各地区として、どうあるべきなのか真剣に考えていかなければなりません。地区の課題として皆さまと考えていきましょう。



幼稚園教諭の処遇改善策について

経営委員長 末屋保広

設置者・園長の皆さん既にご承知の通り、年明け早々に宮城県より幼稚園教員のための処遇改善策の中味が示されました。その結果として県内の私立幼稚園の約3割が申請をし、7割は申請を見送ったようです。一方、保育園や認定こども園向けの処遇改善策では、経験年数が7年位の教員が一定の研修を受けた上で、月4万円の給与が増額する等、幼稚園と比べるとケタ違いの処遇改善の額が示されたようであります。今回の幼稚園向けの改善策を受け入れなくても、教員1人当たり月4千円程度のアップでは焼け石に水のような感じも否めません。しかし、今回初めて宮城県でも重い腰を上げてスタートした策なのです。次年度以降も同じような施策が行われると聞いておりますので、その際は全ての園で申請をしていただき、その上で補助の増額や、

より良い制度になるためのお願いをしていく必要があると思います。このまま保育士向けの改善策のみが主導化にされる流れになってしまうと、今後ますます養成校の学生の保育所志向が強まり、幼稚園教員の人材確保が厳しいものとならざるを得ません。園児はいるのに先生がいないため、新学期が迎えられない…といった不安も現実のものとなっております。今こそ連合会加盟の設置者・園長の思いを一つに集めて、子どもたちの明るい未来と共に、園で一生懸命に大切な命を守りながら、毎日保育に勤しむ教職員の処遇と職場の環境を改善していけるよう真剣に考えてまいりましょう！



石巻市へ 長浜幼稚園を訪問しました!!

1月29日(月)に、石巻市にある長浜幼稚園に訪問取材させていただきました。あの東日本大震災で園舎が全壊してしまい、その後系列の万石浦幼稚園の園舎を利用し、2園の園児たちとともにたくましく運営をされてきた長浜幼稚園。平成29年10月に新園舎が完成し、本格的な再建を果たしました。明るく開放的、温かみのある保育室、広々としたホールと園庭が印象的な園舎でした。園の周囲は、復興住宅地で宅地造成が急ピッチで進んでいるようでした。震災を乗り越え、新しい街づくりが進んでいることが実感できた訪問となりました。



1. 東日本大震災について

平成17年に長浜幼稚園は新園舎が完成、海がすぐそばにあり、自然に恵まれた環境で運営されていましたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、海岸防波堤から20mほどに位置していた園舎は全壊、石巻渡波地区は壊滅的な被害を受けました。当時預かり保育に残っていた園児8名を緊急避難誘導により、近くの渡波中学校へ避難させ、町道のそのほとんどが被災し、



園長 後藤 竜記 先生

通行不能の孤立した状況下で三日間を過ごされたそうです。ここに復旧するにあたって様々な問題が生じま



ましたが、地域の皆様をはじめ多くの支援をいただき、石巻市さくら町に再建することができました。

2. 教育目標

- ① 友だちをつくり元気に遊べる子ども
- ② 自分の気持ちを言葉で表現し、伝え合う喜びを味わえる子ども
- ③ 自然と触れ合う中で、様々な事象に興味や関心を持つ子ども
- ④ 決まりを守り、自主自律のできる子ども

3. 特に力を入れている教育

長浜幼稚園は、心身ともに健全な子どもに育ててほしいとの願いから専任体育講師による週1回の運動あそびに特に力を入れています。

4. 保育時間

平日 午前9時～
午後1時30分

5. 預かり保育

午後1時30分から
午後5時30分まで

6. 給食

週2回(月・金曜)
他の日は弁当

7. バス送迎

現在2台のバスで園児送迎を行っています。



(高橋 潤・鎌田俊昭)